

第3回策定委員会の論点整理  
(みなみかぜ及び事業主体関連以外)

	委員からの主な意見等	対応策等
医療機能	新病院では紹介状がなくても受診できるのか。そのための開業医との調整はできているのか。	原則は、引き続き、病診連携（かかりつけの診療所を受診の上、病院を受診）が基本ではあるが、これまでより、柔軟な患者受入が可能となると考えている。 病院において、開業医との調整を更に進めていきたい。
	将来的に病院の機能を変えられることができ、人材も確保できる病院にすることが大事と考える。	将来的な人口減等による患者減により、病床が空いてきた場合に、機能転換が容易となる施設とする。
	小児科がないので子供は鹿屋に行くが、内科の医師で、ある程度の診療はできないのか。	内科での乳幼児・小学生の診療は困難である。 ただし、中学生への対応については、病院内で検討する。
運 営	人件費の割合が高いのではないか	原因としては、職員の平均年齢が高いことや、近年の働き方改革によるパート職員の処遇改善がある。また、病院がへき地にあることから人材確保の点から高めの給与とせざるを得ないという事情もある。
	もっと長期的な収支シミュレーションをするべきではないか。	基本計画では、ある程度、長期間のシミュレーションを行い、示す予定である。
	新たに取り組む事業については、行政等とも協議の上、反映可能なものは収支に反映して欲しい。	両町の担当部署と協議の上、反映可能なものは反映する予定である。